

<大英帝国史、植民地史>

「帝国」研究データベース Empire Online

Consultant Editors: Julian Martin & Jane Samson, Department of History and Classics, University of Alberta

- Section 1: **Cultural Contacts, 1492-1969**
Section 2: **Literature and Empire**
Section 3: **The Visible Empire**
Section 4: **Religion and Empire**
Section 5: **Race, Class & Colonialism, c.1607-2007**

- 世界各国の図書館や文書館が所蔵する、オリジナルの文献や冊子資料をデータ化
- 5つのセクションから構成されており、世界的に高名な研究者による論文が付いています
- 植民地史、政治、文化、社会を広くご活用いただけます

コロンブスから現代まで、「帝国」の約5世紀にわたるあらゆる資料を提供する一大データベースです。

資料は、日記、書簡、雑誌、旅行記、航海記、小説、戯曲、博覧会記録、布教資料など幅広く、また、人物も支配者側から反帝国の人々、宣教師、探検家、植物学者、旅行者まで様々です。

帝国の政治、経済、商業、文化、さらに宗教、人種、階級がわかる内容です。また、インドから、アフリカ、カナダ、オーストラリアと世界各国を網羅しています。

提供する地図やイラストは美しく、検索もシンプルなものから、トピックや地名別まで多数選択することができ、またPDFファイルによる印刷も簡単と、大変便利な機能が付いています。



- ・ アメリカ帝国主義についても分析されています(近年のイラク問題も網羅)
- ・ 1930年代の日本、アフリカとインドにおけるイギリス、第二次世界大戦後のアメリカと、各帝国主義を比較することができる資料が満載です
- ・ カナダ、インド、南アフリカ、オーストラリアのような世界各国様々な地域が網羅されています

(Adam Matthew Digital, GBR / 日本総代理店：丸善雄松堂)

《裏面に続きます》

- 表示価格は概算参考価格(税抜)です。概算参考価格にはライセンス料と手数料が含まれます。掲載製品はリバースチャージ対象製品です。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由による価格の変更や掲載タイトルの変更につきましては、予めご了承の程お願い申し上げます。
- 正式なお見積もりは、別途ご用命ください。

日本総代理店
M MARUZEN-YUSHODO

丸善雄松堂株式会社 [学術情報ソリューション事業部 研究支援統括部]
〒105-0022 東京都港区海岸 1-9-18 国際浜松町ビル
TEL:03-6367-6128 FAX:03-6367-6240 <http://yushodo.maruzen.co.jp>

【価格体系】

FTE により価格が異なります。

FTE は人文社会科学系学部の学生数(学部生＋院生)より算出いたします。

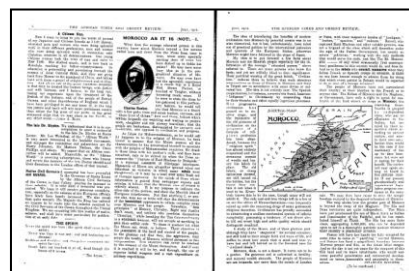
価格は概算参考価格(税抜)です。

FTE <5,000 (Band 0)	FTE 5,001-10,000 (Band 1)	FTE 10,001-15,000 (Band 2)	FTE 15,000< (Band 3)
お問い合わせください	お問い合わせください	お問い合わせください	お問い合わせください

- ◇ 完全買い切り・アクセスフィー無し ◇バックアップ HDD 提供可能(有償) ◇ 同時アクセス無制限
◇ 無料トライアル 受付中！(機関・個人ともに1か月間)

【特 長】

- ・ 地図、書籍、パンフレット、絵、貴重本など、検索可能な資料イメージが数千点収録されています。
- ・ テーマ別にも配列されているので、一次資料を見つけやすい工夫がなされています。
- ・ 索引が、トピック別、地理別、人物別、性別、資料ごとと詳細に分かれているので資料が検索しやすいです。
- ・ マイクロフィルムですと長くて扱いにくい資料も簡単に見つけられます。
- ・ 帝国研究の第一人者たちによる論文付です。
- ・ 研究から授業まで広く活用できるハイクオリティなデータベースです。
- ・ 毎年のメンテナンス料金は不要です。
- ・ ネットワーク利用の追加料金はありません。
- ・ 同時アクセス無制限です。
- ・ MARC レコード付。



Section I: 異文化接触 Cultural Contact, 1492-1969

コロンブスから脱植民地まで、5 世紀にわたる異文化接触を網羅したセクションです。ヨーロッパ旅行者の日記や体験記、さらに書簡や雑誌を提供します。アフリカ、インド、カナダ、オーストラリア、南太平洋における原住民の文化や風習もわかる内容です。ケンペルのペルシアに関する資料、スローンの探検記、ジョセフ・バンクス卿の航海記録、ムンゴ・パークの *African Journal*、宣教師の記録などを提供します。

時間が経つにつれて変わっていった対応や、ヨーロッパ人が現地の人々と一緒に、時には対立しながら生活していたことがわかる興味深い内容です。20 世紀の独立や自治政府に向けた動きにも注目した内容となっています。

以下のテーマに関する論文も収録されています。

- **Cultural Contacts, c.1492-1763**

by Dr Julian Martin, Department of History & Classics, University of Alberta

- **Cultural Contacts, c.1763-1969**

by Dr Jane Samson, Department of History & Classics, University of Alberta

- **Economic aspects of Empire**

by Professor Alan Frost, Department of History, La Trobe University

Section II: 文学と帝国 Literature and Empire

植民地の広がりや影響を綴った重要なテキストを収録しています。プロ帝国主義と反帝国主義双方の著者による著作、さらに帝国支持者、支配者による著作を提供。詩、散文、戯曲も収録されています。

【収録資料例】

- Mary Kingsley's *The Story of West Africa* (London, 1899)
- Henry Rider Haggard's *King Solomon's Mines* (London, 1885)
- M L Dube's *Adventures of a Sepoy* (Agra, 1892)
- R C Praed's *Australian Life: Black and White* (London, 1885)
- J S Borlase's *Saved by Shadows and Perils amongst Papuans from Stirring Tales of Colonial Adventure* (London, 1894)
- Paramesvara G Pillai's *London and Paris Through Indian Spectacles* (Madras, 1897)
- Dasa Nandalala's *Reminiscences of England and Australia* (Calcutta, 1893)
- Mary French Sheldon's *Sultan to Sultan, adventures among the Masai and other tribes of East Africa* (London, 1892)

以下のテーマに関する論文も収録されています。

- **Children's Adventure Stories & the ideals of Empire**

by Professor Christopher Gordon-Craig, Department of English, University of Alberta

- **Pioneering Indian Women's Writing in English**

by Dr Chandani Lokugé, Department of English, Monash University

- **Women, Gender, Politics and the Literature of Empire**

by Professor Angela Woollacott, Department of History, MacQuarie University

- **The Literature of Empire – Africa**

by Professor Oyekan Owomoyela, Department of English, University of Nebraska, Lincoln

Section III: 目で見る帝国 The Visible Empire

セクション III は、芸術、建築、原住民・風景を描いた絵、自然の写真や図表を提供します（4,000 点はカラーです）。謁見所や帝国展示に関連する資料も多数収録されています。イングランド、スコットランド、フランス、オーストラリア、インドでの植民地展示が観光客に与えた影響や、マーケティング、宣伝目的で使われた帝国のイメージ、本国での植民地に対するイメージと、植民地における海外のイメージの違いなどがわかる内容です。

【収録資料例】

- Empire Marketing Board Posters from The National Archives
- A Collection of Colour Plates Illustrative of African Scenery and Animals by Samuel Daniell (London, 1804)
- Narrative of the Indian Revolt From its Outbreak to the Capture of Lucknow by Sir Colin Campbell: Illustrated with nearly two hundred engravings from authentic sketches (London, 1858)
- Report on the Indian Section of the Colonial and Indian Exhibition 1886, by J. R. Royle (London, 1887)
- England and India Being Impressions of Persons and Things, English and Indian, and Brief Notes of Visits to France, Switzerland, Italy, and Ceylon, by Lala Baijnath (Bombay, 1893)

以下のテーマに関する論文も収録されています。

- **The Visible Empire and the Empire at Home, c.1750-1960**
by Dr Antoinette Burton, Department of History, University of Illinois, Urbana Champaign
- **The Imperial Canvas: Art and Empire**
by Dr Romita Ray, Georgia Museum of Art, University of Georgia
- **The Great Exhibition: Art, Display and the British Empire**
by Dr Jeffrey Auerbach, Department of History, California State University at Northridge

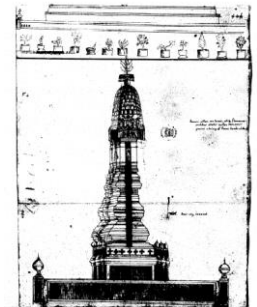
Section IV: 宗教と帝国 Religion and Empire

セクション IV は、宣教師活動、先住民教会、地方信仰・風習との併合に関する資料を提供します。インド、アフリカにおける様々な宗教、ネイティブ・アメリカン・インディアンに関する資料、さらにオーストラリアや南太平洋に関する記述はマオリやアボリジニなど民族の資料が多数収録されています。

帝国の広がりによって宗教が果たした役割を理解することができます。さらに、宗教、ナショナリズム、独立運動の台頭、20 世紀における独立系教会の台頭、1920 年代以降の宣教組織の変化と優位、ヒンズー教とイスラム教の紛争などのテーマも網羅されています。

以下のテーマに関する論文も収録されています。

- **Religion & Empire at home and abroad**
by Professor Andrew Porter, King's College, University of London
- **Religion and Missions in South Africa and the Pacific**
by Dr Tony Ballantyne, Department of History, University of Otago
- **Religion and Empire with special reference to South Africa and Canada**
by Dr Elizabeth Elbourne, Department of History, McGill University



Section V: Race, Class, Imperialism and Colonialism, c.1607-2007

セクション V は、人種、階級と植民地主義という、帝国研究の重要概念に焦点を当てています。帝国の態度は人種や階級に左右されていたのでしょうか？人種問題は英国の拡大を抑制したのでしょうか？

植民地主義やナショナル・アイデンティティに対する多様な視点を提供する記録が満載であり、支配する側とされる側での考え方の違いや、時代ごとの思想の違いを明らかにしてゆきます。

以下のテーマに関する論文も収録されています。

- **Cultural Encounters: Speke, Burton, and Victorian Exploration**
by Dane Kennedy, Department of History, George Washington University
- **From Emancipation to Resistance: Colour, Class & Colonialism, 1870-1914**
by Doug Lorimer, Department of History, Wilfred Laurier University
- **Race, Gender and the British Empire**
by Dr Madhavi Kale, Department of History, Bryn Mawr College
- **Imperialism and American Empire in Global Perspective**
by Dr Ian C Fletcher and Dr Yaël Simpson Fletcher, Department of History, Georgia State University
- **Ireland and Empire, 1607-1969**